

# CONSOLIDATED FINANCIAL RESULTS

2026年3月期 決算説明会

三菱電機株式会社

2026/4/28



# 目次

1. 今回のポイント	.....	P2
2. 25年度 実績	.....	P4
3. 26年度 業績見通し	.....	P14
4. 補足情報	.....	P18

1

今回のポイント

# 今回のポイント

25年度は、売上高 5兆8,947億円(前年度比 +3,730億円)、ネクストステージ<sup>(※1)</sup>除く営業利益 5,384億円(前年度比 +1,466億円)

- インフラ部門、ライフ部門、FAシステム事業の規模拡大、インダストリー・モビリティ部門、ライフ部門の価格改善などにより、売上高・営業利益ともに過去最高を更新。
- 業績改善に向けた諸施策を確実に実行し、空調・家電事業を除く全てのサブセグメントで前年度比増益。

フリー・キャッシュ・フローは2,315億円(営業キャッシュ・フロー 5,759億円、投資キャッシュ・フロー △3,444億円)

- 将来の成長に向けた投資を実行しつつ、安定的なフリー・キャッシュ・フローを創出し、継続的な株主還元の実現を目指す。

26年度業績見通しは、売上高 6兆2,000億円(前年度比 +3,052億円)、調整後営業利益<sup>(※2)</sup> 5,900億円(前年度比 +887億円)

- 防衛システム事業、FAシステム事業、ライフ部門の拡大などにより、売上高・調整後営業利益ともに過去最高を更新する見通し。
- 中東情勢影響については、原油由来の原材料・物流費の高騰影響を業績見通しに織り込み。

(※1) ネクストステージ支援制度特別措置の実施について <https://www.mitsubishielectric.co.jp/ja/pr/2025/pdf/0908.pdf>

(※2) 「調整後営業利益」は、営業利益から事業・資産売却損益、減損損失等のその他の損益を控除しています。

2

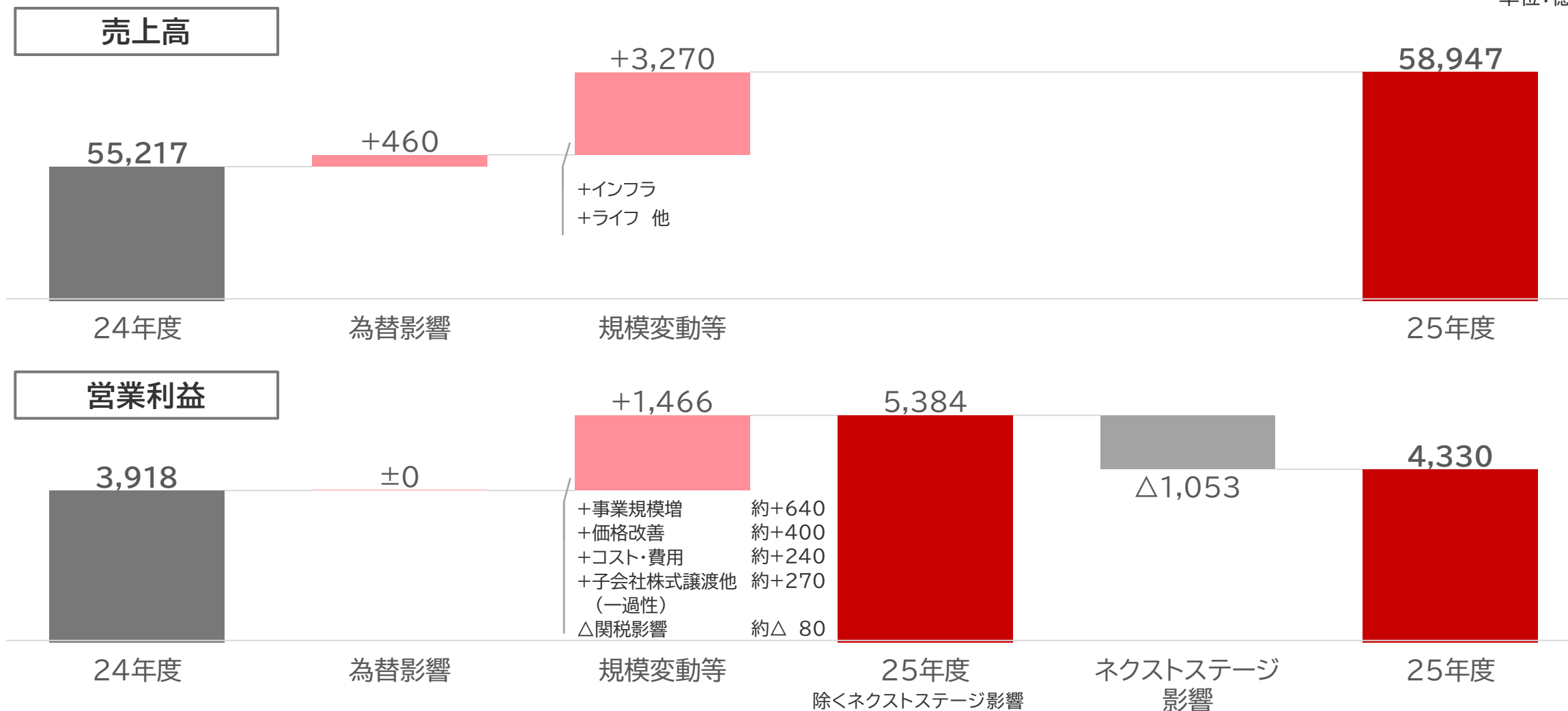
25年度 実績

# 連結決算概況

	24年度	25年度	前年度比	
単位:億円				
売上高	55,217	58,947	+3,730	107%
ネクストステージ除く営業利益	3,918	5,384	+1,466	137%
営業利益率	7.1%	9.1%	+2.0pt	-
ネクストステージ影響額	-	△1,053	△1,053	-
営業利益	3,918	4,330	+412	111%
営業利益率	7.1%	7.3%	+0.2pt	-
税引前当期純利益	4,372	5,260	+888	120%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,240	4,077	+836	126%
	米ドル ユーロ 人民元	153円 164円 21.1円	151円 176円 21.4円	

# 売上高・営業利益の変動内訳

単位: 億円



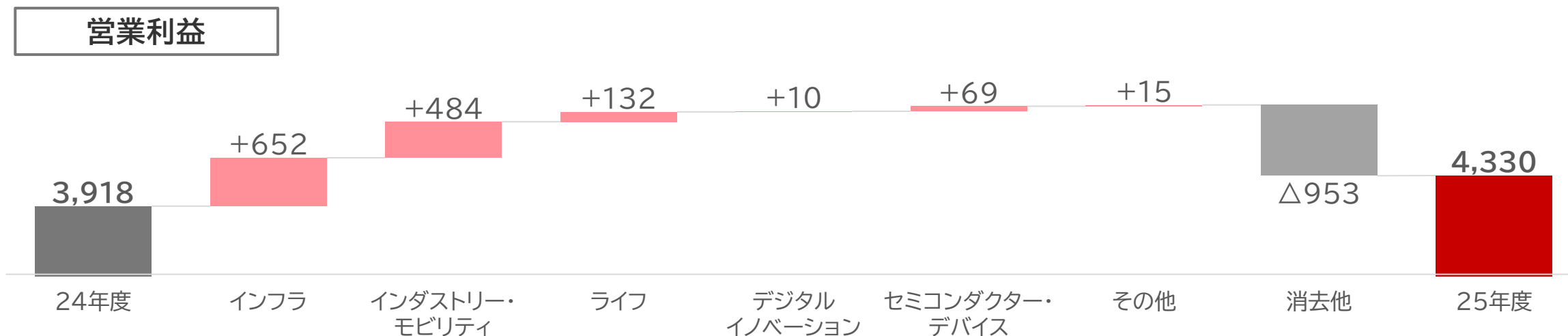
# 連結財政状態計算書 及び 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:億円	24年度末	25年度末	前年度末比
<b>資産 計</b>	63,756	73,575	+9,818
現金及び現金同等物	7,573	7,316	△257
売上債権・契約資産	14,902	17,544	+2,641
棚卸資産	12,449	12,621	+171
<b>負債 計</b>	22,993	27,275	+4,282
社債・借入金及びリース負債残高	3,606	3,632	+26
D/Eレシオ	0.09	0.08	△0.01
<b>資本 計</b>	40,763	46,299	+5,536
親会社株主に帰属する持分	39,496	44,842	+5,345
親会社株主帰属持分比率	61.9%	60.9%	△1.0pt

単位:億円	24年度	25年度	前年度比
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,559	5,759	+1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,917	△ 3,444	△1,526
フリー・キャッシュ・フロー	2,641	2,315	△325

# 売上高・営業利益のセグメント別増減

単位:億円



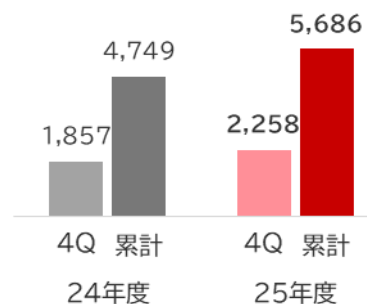
(注)25年度より、従来の「ビジネス・プラットフォーム」を「デジタルイノベーション」に名称変更しました。  
消去他にネクストステージ影響額△1,053億円を含みます。

# セグメント別実績：インフラ

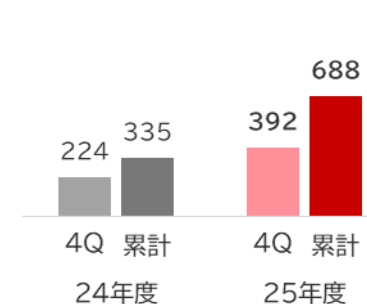
単位：億円

インフラ	売上高(前年度比)	営業利益(前年度比)	営業利益率(前年度比)
	14,634(+2,384)	1,547(+652)	10.6%(+3.3pt)

売上高



営業利益

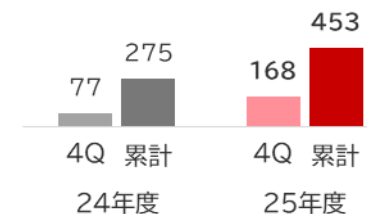
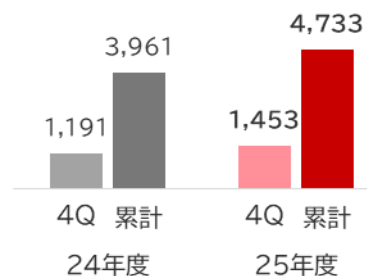


社会システム	売上高(前年度比)	営業利益(前年度比)	営業利益率(前年度比)
	5,686(+936)	688(+353)	12.1%(+5.0pt)

- 事業環境は、国内外の公共分野や交通分野における設備投資が堅調に推移した。
- 受注高は海外の交通事業の大口案件の減少などにより前年度を下回ったが、売上高は国内の交通事業や海外向けUPS(\*)事業の増加などにより前年度を上回った。
- 営業利益は、売上高の増加や売上案件の変動などにより前年度比増益。

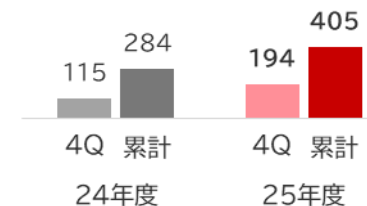
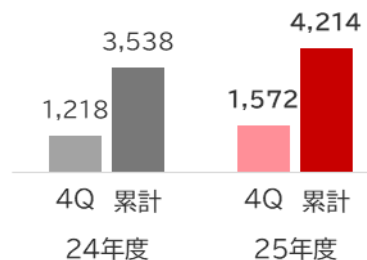
エネルギーシステム	売上高(前年度比)	営業利益(前年度比)	営業利益率(前年度比)
	4,733(+771)	453(+178)	9.6%(+2.7pt)

- 事業環境は、再生可能エネルギーの拡大やデータセンターの増設などを背景に需要が堅調に推移した。
- 受注高は国内外の発電事業の増加などにより前年度を上回り、売上高は国内外の電力流通事業の増加などにより前年度を上回った。
- 営業利益は、売上高の増加などにより前年度比増益。



防衛・宇宙システム	売上高(前年度比)	営業利益(前年度比)	営業利益率(前年度比)
	4,214(+676)	405(+121)	9.6%(+1.6pt)

- 事業環境は、政府関連予算の増加などにより防衛・宇宙分野ともに需要が堅調に推移した。
- 防衛システム事業の大口案件の増加により、受注高・売上高ともに前年度を上回った。
- 営業利益は、売上高の増加などにより前年度比増益。



(\*) UPS: Uninterruptible Power Supply / 無停電電源装置

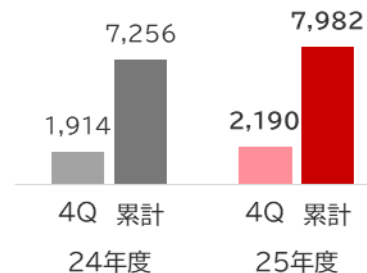
(注) 25年度より、従来の「電力システム」を「エネルギーシステム」に名称変更しました。

# セグメント別実績：インダストリー・モビリティ

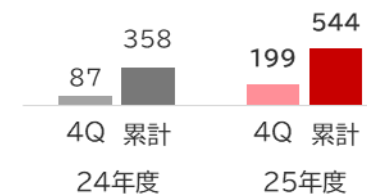
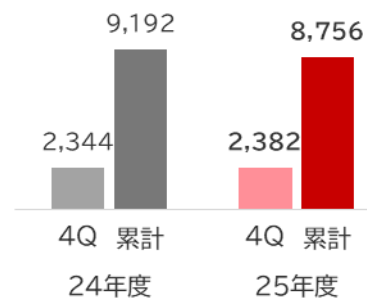
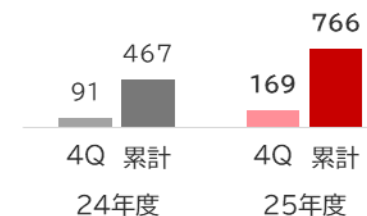
単位：億円

インダストリー・モビリティ	売上高(前年度比)	営業利益(前年度比)	営業利益率(前年度比)
	16,738(+290)	1,310(+484)	7.8%(+2.8pt)
FAシステム	売上高(前年度比)	営業利益(前年度比)	営業利益率(前年度比)
	7,982(+726)	766(+298)	9.6%(+3.2pt)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業環境は、中国におけるスマートフォン、工作機械関連の需要や、日本・中国などにおけるAI関連の半導体などの設備投資需要が増加した。</li> <li>● スマートフォン、AI関連の設備投資や工作機械関連需要の増加などにより、受注高・売上高ともに前年度を上回った。</li> <li>● 営業利益は、売上高の増加や価格改善の効果などにより前年度比増益。</li> </ul>		
自動車機器	売上高(前年度比)	営業利益(前年度比)	営業利益率(前年度比)
	8,756(△435)	544(+186)	6.2%(+2.3pt)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業環境は、新車販売台数がインド・中国・欧州を中心に増加し、その他の地域では前年度並みとなった。</li> <li>● 中国における日系自動車メーカーの販売減少による影響や、北米向けカーマルチメディアの事業縮小などにより、売上高は前年度を下回った。</li> <li>● 営業利益は、価格改善の効果や費用の削減などにより前年度比増益。</li> </ul>		

売上高



営業利益



# セグメント別実績：ライフ

単位：億円

ライフ	売上高(前年度比)	営業利益(前年度比)	営業利益率(前年度比)
	23,182(+1,330)	1,705(+132)	7.4%(+0.2pt)

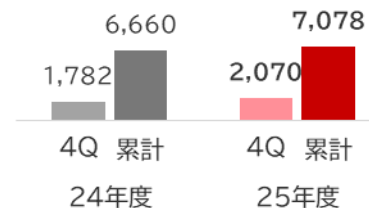
  

ビルシステム	売上高(前年度比)	営業利益(前年度比)	営業利益率(前年度比)
	7,078(+418)	667(+165)	9.4%(+1.9pt)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業環境は、国内などの一部地域でリニューアル需要が拡大した。</li> <li>● 中東の関係会社の連結子会社化影響に加え、海外(除く中国)向けの増加や国内のリニューアル事業の増加などにより、受注高・売上高ともに前年度を上回った。</li> <li>● 営業利益は、売上高の増加や売上案件の変動などにより前年度比増益。</li> </ul>		

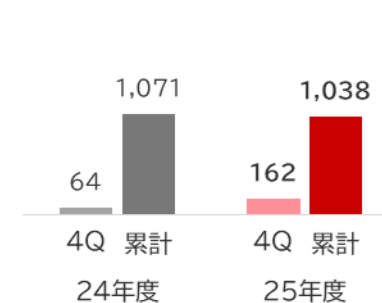
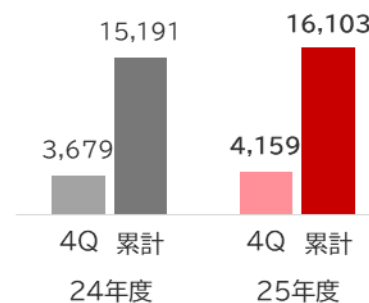
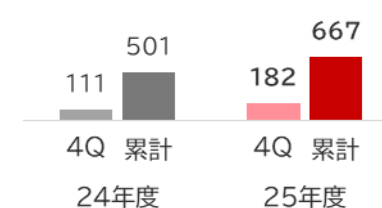
  

空調・家電	売上高(前年度比)	営業利益(前年度比)	営業利益率(前年度比)
	16,103(+912)	1,038(△33)	6.4%(△0.7pt)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業環境は、国内で家庭用・業務用空調機器の需要が堅調に推移したほか、欧州でも需要回復の動きが継続した。</li> <li>● 円安の影響や価格改善の効果に加え、欧州・国内・北米での家庭用・業務用空調機器の増加などにより、売上高は前年度を上回った。</li> <li>● 営業利益は、為替の影響や費用の増加に加え、素材高騰影響などにより前年度比減益。</li> </ul>		

売上高



営業利益



# セグメント別実績：デジタルイノベーション/セミコンダクター・デバイス

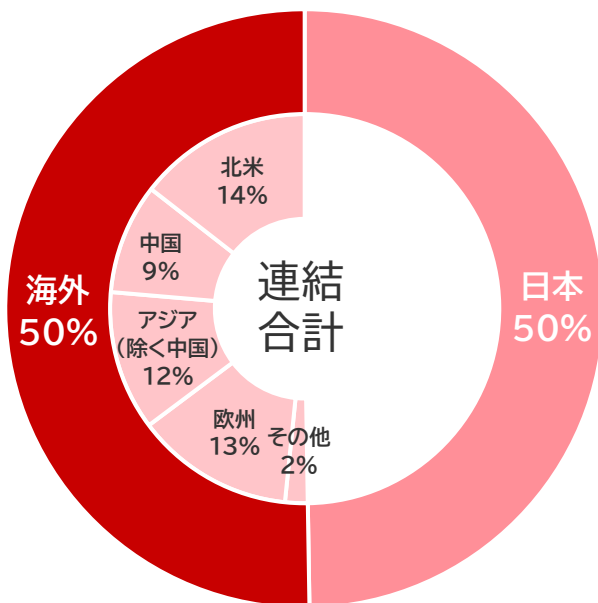
単位:億円

	売上高(前年度比)	営業利益(前年度比)	営業利益率(前年度比)	売上高		営業利益	
デジタルイノベーション	1,580(+111)	119(+10)	7.6%(+0.2pt)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業環境は、レガシーシステムの更新やデジタルトランスフォーメーション(DX)導入関連の需要が堅調に推移した。</li> <li>● ITインフラ・セキュリティ事業、製造DXソリューション事業などの増加により、受注高・売上高ともに前年度を上回った。</li> <li>● 営業利益は、売上高の増加などにより前年度比増益。</li> </ul>						
セミコンダクター・デバイス	2,871(+7)	475(+69)	16.6%(+2.4pt)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業環境は、パワー半導体の需要停滞が継続したが、通信用光デバイスの需要が堅調に推移した。</li> <li>● 受注高は電鉄・電力向けパワー半導体、通信用光デバイスの増加などにより前年度を上回り、売上高は前年度並みとなった。</li> <li>● 営業利益は、売上構成の変動影響などにより前年度比増益。</li> </ul>						

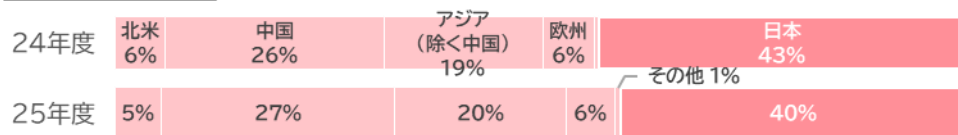
(注)25年度より、従来の「ビジネス・プラットフォーム」を「デジタルイノベーション」に名称変更しました。

# 向先地域別売上高

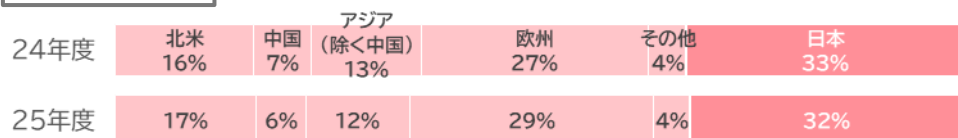
25年度



## FAシステム



## 空調・家電



単位:億円	24年度	25年度	前年度比	
日本	27,235	29,323	+2,088	108%
海外	27,981	29,623	+1,642	106%
北米	7,990	8,527	+536	107%
中国	5,298	5,404	+106	102%
アジア(除く中国)	6,414	6,832	+418	107%
欧州	7,185	7,753	+568	108%
その他	1,092	1,105	+12	101%
連結合計	55,217	58,947	+3,730	107%

# 3

## 26年度 業績見通し

# 26年度 業績見通し

## 26年度 業績見通し

単位:億円	25年度	26年度	前年度比
売上高	58,947	62,000	105%
調整後営業利益	5,012	5,900	118%
調整後営業利益率	8.5%	9.5%	+1.0pt
税引前当期純利益	5,260	6,400	122%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,077	4,750	117%

## 為替レート

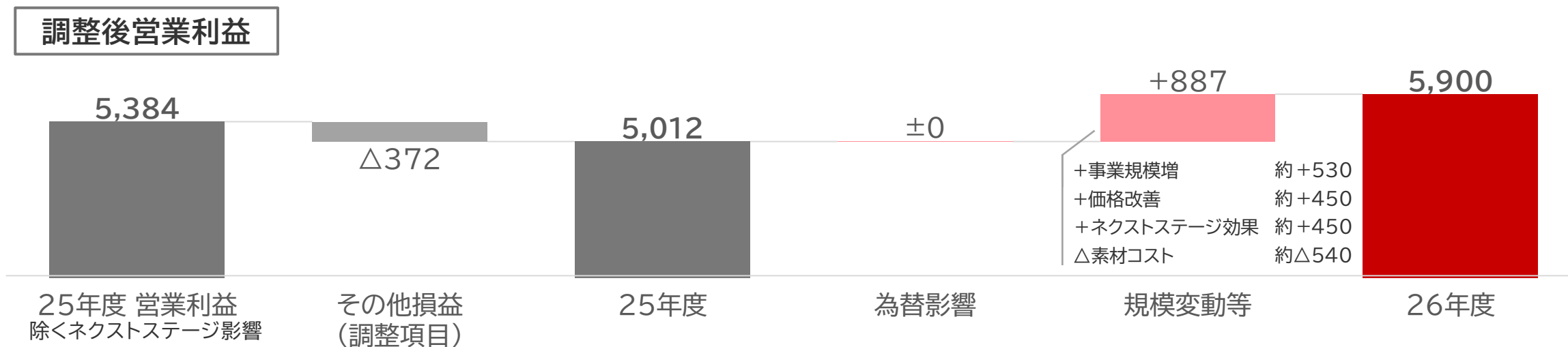
	25年度	26年度	想定 為替感応度 <sup>(*)</sup> (年間)	
			売上高	営業利益
米ドル	151円	150円	約50億円	売上高の約1/4
ユーロ	176円	175円	約40億円	売上高の約1/3
人民元	21.4円	21.5円	約20億円	売上高の約1/3

(\*1) 1円変動(人民元は0.1円)による影響

(注) 「調整後営業利益」は、営業利益から事業・資産売却損益、減損損失等のその他の損益を控除しています。

# 26年度 業績見通し（変動内訳）

単位：億円



(注)「調整後営業利益」は、営業利益から事業・資産売却損益、減損損失等のその他の損益を控除しています。

## 26年度 業績見通し（部門別売上高・調整後営業損益）

単位:億円	25年度			26年度			前年度比			概況
	売上高	調整後 営業利益	調整後 営業利益率	売上高	調整後 営業利益	調整後 営業利益率	売上高	調整後 営業利益	調整後 営業利益率	
インフラ	14,634	1,565	10.7%	16,400	1,700	10.4%	+1,766	+134	△0.3pt	・セグメント全体では、防衛システム、社会システムの事業規模増などにより増収・増益の見通し。
社会システム	5,686	689	12.1%	6,000	660	11.0%	+313	△29	△1.1pt	
エネルギーシステム	4,733	454	9.6%	4,800	480	10.0%	+66	+25	+0.4pt	
防衛・宇宙システム	4,214	421	10.0%	5,600	560	10.0%	+1,385	+138	0.0pt	
インダストリー・モビリティ	16,738	1,252	7.5%	16,850	1,740	10.3%	+111	+487	+2.8pt	・セグメント全体では、価格改善やFAシステムでの事業規模増、自動車機器でのポートフォリオ組替に伴う機種構成改善などにより増収・増益の見通し。
FAシステム	7,982	752	9.4%	8,650	1,020	11.8%	+667	+267	+2.4pt	
自動車機器	8,756	499	5.7%	8,200	720	8.8%	△556	+220	+3.1pt	
ライフ	23,182	1,683	7.3%	24,300	2,100	8.6%	+1,117	+416	+1.3pt	・セグメント全体では、ビルシステム及び空調・家電での需要増などにより増収・増益の見通し。
ビルシステム	7,078	656	9.3%	7,600	770	10.1%	+521	+113	+0.8pt	
空調・家電	16,103	1,026	6.4%	16,700	1,330	8.0%	+596	+303	+1.6pt	
デジタルイノベーション	1,580	121	7.7%	1,800	100	5.6%	+219	△21	△2.1pt	・OTセキュリティの事業規模増により増収も、費用増により減益の見通し。
セミコンダクター・デバイス	2,871	463	16.1%	3,000	430	14.3%	+128	△33	△1.8pt	・通信用光デバイスの需要増などにより増収も、償却費増などにより減益の見通し。
その他	8,235	378	4.6%	8,220	370	4.5%	△15	△8	△0.1pt	
消去又は全社	△ 8,295	△ 451	-	△ 8,570	△ 540	-	△274	△88	-	
<b>連結合計</b>	<b>58,947</b>	<b>5,012</b>	<b>8.5%</b>	<b>62,000</b>	<b>5,900</b>	<b>9.5%</b>	<b>+3,052</b>	<b>+887</b>	<b>+1.0pt</b>	

(注)「調整後営業利益」は、営業利益から事業・資産売却損益、減損損失等のその他の損益を控除しています。

# 4

## 補足情報

# 連結損益計算書

単位:億円	24年度		25年度		前年度比
売上高	55,217	100.0%	58,947	100.0%	+3,730
売上原価	38,294	69.4%	40,052	67.9%	+1,757
販売費及び一般管理費	13,157	23.8%	13,882	23.6%	+724
その他の損益(△損失)	154	0.3%	△ 681	△1.2%	△835
営業利益	3,918	7.1%	4,330	7.3%	+412
金融収益・費用(△費用)	64	0.1%	233	0.4%	+169
持分法による投資利益	389	0.7%	696	1.2%	+306
税引前当期純利益	4,372	7.9%	5,260	8.9%	+888
法人所得税費用	903	1.6%	923	1.5%	+19
当期純利益	3,469	6.3%	4,337	7.4%	+868
親会社株主に帰属する当期純利益	3,240	5.9%	4,077	6.9%	+836

# 部門別売上高・営業損益

単位:億円	24年度			25年度			前年度比		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
インフラ	12,249	894	7.3%	14,634	1,547	10.6%	+2,384	+652	+3.3pt
社会システム	4,749	335	7.1%	5,686	688	12.1%	+936	+353	+5.0pt
エネルギーシステム	3,961	275	6.9%	4,733	453	9.6%	+771	+178	+2.7pt
防衛・宇宙システム	3,538	284	8.0%	4,214	405	9.6%	+676	+121	+1.6pt
インダストリー・モビリティ	16,448	826	5.0%	16,738	1,310	7.8%	+290	+484	+2.8pt
FAシステム	7,256	467	6.4%	7,982	766	9.6%	+726	+298	+3.2pt
自動車機器	9,192	358	3.9%	8,756	544	6.2%	△435	+186	+2.3pt
ライフ	21,851	1,572	7.2%	23,182	1,705	7.4%	+1,330	+132	+0.2pt
ビルシステム	6,660	501	7.5%	7,078	667	9.4%	+418	+165	+1.9pt
空調・家電	15,191	1,071	7.1%	16,103	1,038	6.4%	+912	△33	△0.7pt
デジタルイノベーション	1,468	108	7.4%	1,580	119	7.6%	+111	+10	+0.2pt
セミコンダクター・デバイス	2,863	406	14.2%	2,871	475	16.6%	+7	+69	+2.4pt
その他	8,521	515	6.1%	8,235	531	6.5%	△285	+15	+0.4pt
消去又は全社	△ 8,185	△ 406	-	△ 8,295	△ 1,359	-	△109	△953	-
<b>連結合計</b>	<b>55,217</b>	<b>3,918</b>	<b>7.1%</b>	<b>58,947</b>	<b>4,330</b>	<b>7.3%</b>	<b>+3,730</b>	<b>+412</b>	<b>+0.2pt</b>

(注)25年度より、従来の「電力システム」、「ビジネス・プラットフォーム」を、「エネルギーシステム」、「デジタルイノベーション」に名称変更しました。

# 量産系事業の受注推移

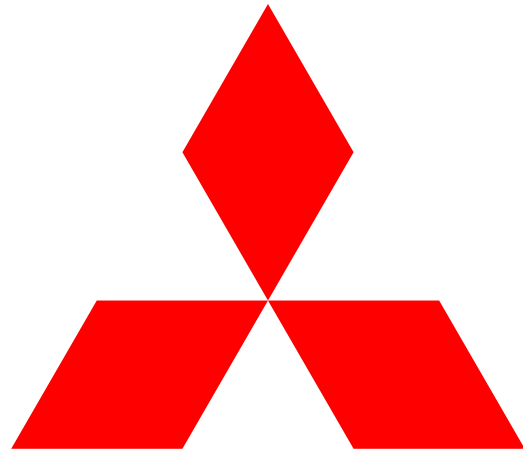
		24年度				25年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
FAシステム	YoY (前年同期比)	+8%	+15%	+33%	+28%	+23%	+15%	+17%	+30%
	QoQ (前四半期比)	+7%	+5%	+2%	+13%	+2%	△2%	+4%	+25%
セミコンダクター・デバイス	YoY (前年同期比)	△13%	△24%	+29%	△28%	△21%	+5%	+27%	+70%
	QoQ (前四半期比)	△16%	△1%	+10%	△22%	△8%	+31%	+35%	+4%

(注)量産系事業のうち自動車機器事業、空調・家電事業については、受注生産形態をとらない製品が多く、受注推移を示していません。

本資料に記載されている三菱電機グループの業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと大きく異なることがあります。

なお、業績等に影響を及ぼす可能性がある要因のうち、主なものは以下のとおりですが、新たな要因が発生する可能性もあります。

- ① 世界の経済状況・社会情勢及び規制や税制等各種法規の動向
- ② 為替相場
- ③ 株式相場
- ④ 資金調達環境
- ⑤ 製品需給状況及び部材調達環境
- ⑥ 重要な特許の成立及び実施許諾並びに特許関連の係争等
- ⑦ 訴訟その他の法的手続き
- ⑧ 製品やサービスの品質・欠陥や瑕疵等に関する問題
- ⑨ 地球環境(気候関連対応等)等に関連する法規・規制や問題
- ⑩ 人権に関連する法規・規制や問題
- ⑪ 急激な技術革新や、新技術を用いた製品の開発、製造及び市場投入時期
- ⑫ 事業構造改革
- ⑬ 情報セキュリティ
- ⑭ 地震・津波・台風・火山噴火・火災等の大規模災害
- ⑮ 地政学的リスクの高まり、戦争・紛争・テロ等による社会・経済・政治的混乱
- ⑯ 感染症の流行等による社会・経済・政治的混乱
- ⑰ 当社役員・大株主・関係会社等に関する重要事項



**MITSUBISHI  
ELECTRIC**

*Changes for the Better*